

2025年 11 月

からし種

カトリック片瀬教会



心の生活を深めましょう

ブランチフィールド神父

10 月 28 日、火曜日

今日、窓から見て、木の葉っぱはほとんど変わっていない。でも教会の暦は終りに近づいています。11 月 1 日は諸聖人の祝いで、その翌日は死者の日、11 月 23 日は王であるキリストの祝いです。その翌週の待降節はもう新しい年の始まりで、クリスマスを迎えるための季節です。

心の生活から見ては、恵みの多い時ではないかと思います。諸聖人の取次ぎを願いながら、亡くなった父母、兄弟、知人のみんなのために祈りましょう。そして王であるキリストの祝いにあたって、一年の感謝をしましょう。その日（11 月 23 日）許されるなら 10 時のミサ後、祭壇の上に聖体を顕示台に入れて、1 時間の礼拝をしたいと思います—12 時ごろまで。その日のミサに来られたほとんどの方が、加わってくださるように望みます。

私は神様の愛を深く信じています。私たちはそれに包まれています。そのことに思いを寄せ、待降節は自分に向き合って、日頃の生き方、心の持ち方の見直しをしましょう。

祈りながら、神様の愛に対する感謝を深めることができますように。

2025 年 11 月度 教会委員会報告

開催日時：2025 年 10 月 12 日(日) 11 時 30 分～12 時 30 分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、副委員長、副委員長、典礼、財務、総務、
宣教司牧、福祉、広報、中高大青会、一粒会、書記

※コミュニティ代表者：(A)、(B)、(C)

□ブランチ神父のお話し

クリスマスの事を考えています。からし種にも書きますが、クリスマス迄 12 月 8 日にマリア様の祭日(無原罪の聖マリア)があります。11 月 23 日の「王であるキリスト」の日は聖体顕示をして 1 年の感謝をするつもりです。巡礼については、こちらから言われなくてもグループを作って行ってください。レオ神父にも話しをして、(築地教会へ)行ったら歓迎してくれるでしょう。

□全体の報告および連絡事項

1. 10 月 5 日 第 5 地区共同宣教司牧委員会の報告が宮國委員長からあった。
第 5 地区各教会の抱えている問題など、またバザーへの取り組み方など情報交換が出来有意義だった。また横浜教区懇談会(軽井沢教会にて)に出席された方々からの報告、ラウダート・シ・エコロジーの取り組みに対しての分かち合いなどがあった事などの報告。
2. 10 月 5 日 バザー準備のため、第 1 回コミュニティ代表者の集まりがあった。
2 回目は 10 月 12 日。
3. 10 月 5 日 侍者会発足の準備として勉強会を行った。
4. 今後の予定
典礼部より
 - ① 11 月 1 日(土)諸聖人の祝日のミサ 10 時から
 - ② 11 月 2 日(日)死者の日迄に 10 月 19 日～26 日迄ノートに追悼希望の死者の名前を記入してもらう。
 - ③ 11 月 26 日 10 時ミサで「七五三」のお祝いをする。10 月 19 日から申込用紙を掲示する。
5. 10 月 29 日(水)10 時から川崎マックが草刈り作業を予定。
立ち合いは相澤純子さん。

□各部会からの報告

財務部

11 月末期限で教区へ来年度予算を提出する。出費予定あるものを 11 月 23 日迄にメールで田村さんへ送ること。経費節減をお願いする。連絡がなければ従来通りの予算とする。

宣教司牧部

聖心女子大学へ「暁の星の聖母」を貸出した。また、聖堂入口の教皇サイン入りの画も貸し出しすることになった。期限は4月迄。

福祉部

クリスマス船員の為の活動(ステラマリス)として物品の募集を11月に行う。

教会学校

侍者会に合わせミサについての勉強を始めた。

中高大青会

- 1) 10月26日に今夏の「ローマ巡礼」の報告会を行う。
- 2) インスタグラムを開設した。

一粒会

10/13(月・祝)に開かれる第57回横浜教区一粒会大会参加申込は9名。

市内キリスト教連絡会

市民クリスマスのポスター3件応募あり。どれを使用するかは今後の会で話し合い決定する。

営繕及び営繕プロジェクト

- 1) 司祭館寝室のエアコンが壊れたため、入替をした。費用は11万円。
- 2) 聖堂外壁修復の契約を9月28日契約締結。費用3,501,630円。
10月15日より足場ができる。工事期間は11月中旬までの予定。

その他

- 1) 防火管理者池尾より、9月26日に消防設備点検を行い、消火器1本交換。
その他異常なし。藤沢南消防署に点検報告提出済。
- 2) 聖テレジア病院依頼のクリスマスキャロリングは、12月23日(火)16:00～17:00に決定。参加者には、クリスマスケーキが病院から出される。今後の計画は聖テレジア病院と教会のパイプ役である池尾さんを中心にすすめる。

□検討・討議事項

1. 掲示板に掲示するものは奥田副委員長と宣教司牧の相澤雅人さんを通し、教会印を押印した上で掲示することにする。
2. 連絡網については、コミュニティ単位にすることも考えられるので、次委員会で検討する。各委員は案をまとめておくこと。
3. 聖堂入口の聖水、ミサ中の奉納行列を復活させてもいいのではないかとの意見あり。神父と典礼部で協議することになった。
4. 山口道孝神父他著「図説 天正遣欧使節」を1冊購入する。教会で閲覧できるようにするが、貸出はしない。

次回委員会開催 11月16日

第5地区『祈りのリレー』 ～11月は片瀬教会が当番～

一粒会 I. K.

今年度の、横浜教区第五地区の『一粒会 祈りのリレー』のラスト11月は片瀬教会が当番です。

毎週、主日のミサの共同祈願で、以下の祈りを唱えます。

司祭・修道者のために祈ります。

主よ、教会のために新しい司祭・修道者の召し出しのお恵みをお与え下さい。多くの若者たちが、司祭・修道者として生きる喜びを感じ、主への道へと歩み出すことができますよう、又、私たちの共同体が心を一つにして、共に祈り、支えることができますように、お導き下さい。

第五地区の他の教会の『祈りのリレー』の一部分を紹介致します。

◎5月 大船教会

『主よ、お創りになったすべてを感謝致します。恵みに満たされ、喜びのうちに歩む私たちを支え、励まし導く司祭をこの大船の地からも、お召し出し下さいますように。』

◎7月 鍛冶ヶ谷教会

『私たち信徒を、キリストの出会いに導いて下さる司祭の方々をお与え頂いた神に感謝します。信徒一人ひとりが、神の恵みに応え、新たな神学生や司祭を迎えることができますように。』

◎9月 戸塚教会

『聖なる父、全能永遠の神、あなたに賛美と感謝を捧げます。あなたの道を示して下さる新たな司祭の召し出しと成聖、神学生の養成に向けて、あなたの息吹を送って下さい。どうか、私たちの中の一人でも多くに、聖なる召命が降りますように。』

20年間、続いている横浜教区第五地区『一粒会の祈りのリレー』。

先月の一粒会大会に参加して、改めて一粒会の目的や意義を考えさせられました。

その目的は、「司祭養成の召し出しと成聖のために霊的(祈りと犠牲)、神学生養成のための経済的支援、教会の中に隠されている貴重な宝、若者に召し出しを考える機会をもたらしこと」

一粒会の由来は、ヨハネ12章24節からとった『一粒の麦』

この、第五地区の『祈りのリレー』で、七つの教会が順番に、司祭召命のための祈りを繋いでいくことで、教会における司祭の誕生と活動という、大きな実りをも

たらずという大きな意味を改めて感じました。

今回の一粒会大会のミサで、お説教なさったルカ枇杷晃平司祭は、昨秋のザビエル祭では、神学生として、参加者の案内係をされていました。今年3月の、保土ヶ谷教会での司祭叙階式にて、晴れて司祭に。司教と司祭団の前で、己を神の前に差し出すしるしとして、ひれ伏しなさんざっていた姿は忘れられません。

この8月には、赴任先の雪ノ下教会での、『パレスチナとわたしたち』の講演会で、新司祭になられて、活躍されているお姿を拝見しました。

そして、この度の一粒会大会のミサで、お説教されていた枇杷神父様の姿に感動でいっぱいです。これからの、ますますの、ご活躍をお祈り致します。少しでも多くの若い方たちが、司牧の道に進むことができますように。

第57回 横浜教区一粒会大会に参加して

一粒会 池尾昇治

今年も10月13日に箱根の強羅にある函嶺白百合学園で、横浜教区一粒会大会が催されました。テーマは「私たちは神の民 イエスさまについていこう」です。参加者は信徒約600名、司教・司祭40名程で、片瀬教会からは9名(内子ども1名)参加しました。プログラムはコロナ禍前に行われていたように午前は、大人と子どものプログラムが別になっていて、大人のプログラムは、大阪高松大司教区の酒井俊弘補佐司教による講話でした。大人子どもに分かれる前に酒井司教より全体への講話があり、手を使ったマジックを披露して「司祭になったら秘跡ができます。それはミサの中でパンをイエス様の体に、ぶどう酒をおん血に変えることです。梅村司教様に『私は司祭になります。』と言ったらマジックの種明かしを教えてください。」と子ども達に話しかけていました。

また、「神父を送ってくれるよう祈って下さい、ご聖体を大切にしてください。世界では、命がけでミサをする神父、命がけで聖体拝領する信者がいます。」とも話してくださいました。大人への講話では、主の祈り、アヴェ・マリアの祈り、栄唱、アーメンの中身についてお話しがありました。冒頭、「祈りは大事だが、祈ることだけで安心してもらっても困る。」と言い、祈りだけでなく、援助も必要です、と〈横浜教区一粒会とは〉の一文を紹介されました。講話の中で、2つの基本として、1. 自分がどう変わるべきか今日考える、2. 今日から自分にできることをする。すなわち、「愚痴、自分の望み、これだけは何一つ変わらない。他人を変えることは難しい。自分を変えること。司祭の召し出しを願うなら、自分の召し出しに答えて下さい。視点が変われば見え方も変わってきます。」また、「あなたは、十字を切ることと祈りの意味を人に説明できますか？」と問いかけ、祈りの意味等を解説してくださいました。例えば、聖堂入口にある聖水は、「神社のように身を清めるためではありません。あれは洗礼を思い出させるためのもので

す。」「主の祈りは、これほど大切な祈りはありません。7つの秘跡に必ず入っています。この祈りには意向が7つ、初めの3つは天の父に呼び掛けており、後の4つは私たちへの願い」等。ユーモアを交え分かりやすくお話しして頂きました。

午後は、大会ミサで主司式は、梅村司教と酒井補佐司教、参加司祭 40 名による共同司式で、600 名の信徒の荘厳なミサで圧巻でした。説教は今年新司祭になられた枇杷晃平神父(雪ノ下、由比ヶ浜助任)が話され分かり易くはっきりとした内容で、大会終了後、昨年のザビエル祭に行かれた方が、神学院にいたころとは見違えるほど立派になったと言われていたことが印象に残りました。昨年の松本大会の時の記事も書かせてもらいましたが、このような行事は参加して体験しなくては得られないものがあります。私の拙い文章では全然伝わりません。これからぜひともこのような行事に参加して体験して頂きたいです。そこに聖霊の導きがあるからです。神に感謝。



横浜教区カテキスタ公開講座

～『信徒の奉仕職』に参加して～

T. Y.

9月20日梅村司教様ご指導のもと、雪ノ下教会においてカテキスタ(信徒でキリスト教理を教える奉仕者)、特に祭壇奉仕者、朗読奉仕者に関して学んでまいりました。

第一講話 教会法典について

第二バチカン公会議における信徒の位置付けを踏まえ、カトリックでは信徒の役務と役割を、①教会の唯一の使命への参与 ②一般社会における信徒固有の役割 ③聖職位階の使徒職への直接的協力と定めています。

その中で強調されたのは今回のテーマ信徒固有の役割(奉仕職)です。

信徒は、信者に委ねられている教会の宣教の使命に与っていることから、祭司、預言者、王として教会の使命に参与し、その源泉は洗礼と堅信に基づき、それぞ

れの使命を担うことができます。

つまりキリスト信者とは、洗礼によりキリストに合体され神の民とされたものであり、各人各様にキリストの祭司的、預言的、及び王的任務に預かり、教会に託した使命を実践するように召されています。

これにより第二バチカン公会議以降、奉仕職に適任と思われる信徒は、教会職に任命され、ことばの奉仕職の遂行のため、預言職としても協力することができるようになりました。

第二講話 祭壇奉仕者と朗読奉仕者について

教会法典に基づく原則に則り、典礼における信徒の直接的協力に関する奉仕職についてのお話でした。

奉仕職とは恒常的任命を受け、教会法 230 条第 1 項の規定に基づき、朗読奉仕者、祭壇奉仕者は 22 歳以上、3 年以上のカトリック信者であり、養成コースを終了した男子信徒でした。しかし多くの国で女性信徒の典礼奉仕が定着していた為、2021 年フランシスコ教皇の自発教令により規定が修正され、女性信徒も任命の対象となりました。

典礼における朗読奉仕者の役割とは、ミサの中で固有朗読を任務とし、神の言葉を伝えることであり、祭壇奉仕者の役割とは、祭壇奉仕をこころがけ、特にミサの祭儀において司祭を助ける任務を担うことです。

奉仕職には、その他に一時的な任命、臨時の任命があり、文書には誤用を避けるため厳格な指針が提示されています。しかし現行日本の教会における典礼の運用においては、信徒数の減少も加わり、法典通りには行かない事例が多いとのこと。

片瀬教会においても同様に、信徒の減少等から本来の典礼の指針が行えない状況です。従って、子供の朗読奉仕者や祭壇奉仕者としての登用など、喫緊の課題として典礼の在り方そのものを、共同体全体で考えていかなければならないと思います。

質疑応答において、梅村司教様からたとえ環境の変化があったとしても、典礼の基本、所作は変わりませんとのお話があり、教会法典に基づきしっかり学んだうえで、ミサに臨まなければならないと実感致しました。

典礼の担当として今回の研修を糧に、ミサの基本、原理を理解し、信徒の皆様が温かく美しいミサに与り、更に信仰を深めることができますよう努力してまいります。

広報部 聖年巡礼隊

N. J.

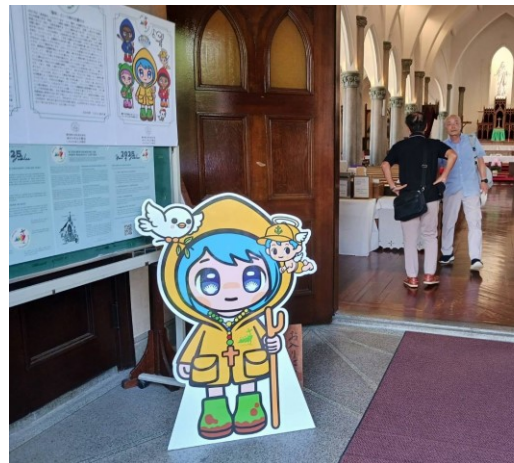
好天に恵まれた 10 月 5 日、上林眞一隊長に率いられた広報部選抜巡礼隊 4 名は、カトリック山手教会のミサに与ってまいりました。釈迦に説法を承知で申し上げますと、山手教会は 1862 年(文久 2 年)、フランス人宣教師ジラル師によって外国人居留地に建てられた、開国後初のキリスト教会です。現在の聖堂は関東大震災後、チェコ人建築家スワガーによって再建された建物で、2023 年の大規模修繕工事を経て今日に至っています。庭にある聖マリア像は 1868 年にフランスから送られたものだそうです。

一行は、上林隊長からあらかじめ連絡を受けていた山手教会の坪井美保さんに暖かく迎えていただき、落ち着いてミサに参加することができました。聖堂の中はステンドグラスの光に満たされて神々しく、隅々まで歴史が感じられる崇高な雰囲気圧迫されました。山手教会のミサは日曜午前中に 3 回あり、そのせいか鈴木真主任司祭によるミサはとてもテンポがよく、我々は 11 時半からの回に参加したのですが、正午過ぎに終わってしまいました。

それから巡礼隊は山手散策を経て、山下公園を通り抜け、道中買い求めたソフトクリームなどなめつつ関内方面へと旅を続け、某イタリアン・レストランにて血の盃を交わし、兄弟姉妹の結束を誓い合い、関内駅から根岸線に乗って、仲良く帰途に着きました。



聖マリア像の前で



聖年マスコット「ルーチェ」がお出迎え

2025 年 11 月

☆教皇の意向：自殺防止

自殺の誘惑にさらされている人々が、地域社会での必要な支援やケアを受け、愛に触れて、人生の美しさに心を開くことができますように。

☆日本の教会の意向：日本と韓国の教会

隣国である日本と韓国の教会が、福音宣教のために助け合い、未来に向けてよりよい協力関係を築いていくことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

2025年11月の典礼 行事・活動予定			
曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
11/1 土	✠諸聖人	10:00	
2 日	死者の日(年間第31週)	8:00 10:00	
3 月			
4 火	聖カロロ・ボロメオ司教 記		ヨハネによる福音書を読む会 10:00
5 水			聖書と典礼を読む会 10:00
6 木			まりあ食堂
7 金		9:30	ミサ後、金曜講座
8 土			
9 日	ラテラン教会の献堂 祝(年間第32週)	8:00 10:00	教会バザー
10 月			
11 火	聖マルチノ(ツール)司教 記		ヨハネによる福音書を読む会 10:00
12 水	聖ヨサファト司教殉教者 記		聖書と典礼を読む会 10:00
13 木			
14 金		9:30	ミサ後、金曜講座
15 土			
16 日	年間第33主日	8:00 10:00	教会委員会
17 月	聖エリザベト(ハンガリー)修道女 記		
18 火			ヨハネによる福音書を読む会 10:00
19 水			聖書と典礼を読む会 10:00
20 木			
21 金	聖マリアの奉献 記	9:30	ミサ後、金曜講座
22 土	聖セシリアおとめ殉教者 記		
23 日	✠王であるキリスト(年間第34週)	8:00 10:00	10時ミサ後聖体顯示
24 月	聖アンデレ・ジュン・ラク司教と同志殉教者 記		
25 火			ヨハネによる福音書を読む会 10:00
26 水			聖書と典礼を読む会 10:00
27 木			
28 金		9:30	ミサ後、金曜講座
29 土			
30 日	待降節第1主日(A年)	8:00 10:00	

◆お知らせ◆

○11月の「金曜講座」の内容は、「ヨハネによる福音書第7章～」です。皆様の参加をお待ちしています。

○11月8日(土)15:00～16:00 聖母の園大聖堂（原宿教会）で、希望の巡礼「テゼの祈り」が開催されます。エキュメニカル(教会一致運動)な集いで、世界の平和を願い共に、歌い、黙想し、祈りませんか。



カトリック山手教会のステンドグラスと旧説教壇

2025年11月号

〒251-0035

発行 カトリック片瀬教会

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>